記者発表資料

平成１９年度

河川、道路整備事業の概要

平成１９年３月

国土交通省　東北地方整備局

酒田河川国道事務所

記者発表先：山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、
山形建設業界専門紙

問合せ先
国土交通省　酒田河川国道事務所
〒998-0011 酒田市上安町一丁目 2-1
Tel 0234-27-3331（代）
副所長（河川担当）　國松　廣志　　内線　204
副所長（道路担当）　北村　　章　　内線　205

１．平成１９年度事業概要

1）概　　要

酒田河川国道事務所は、大正６年最上川改修土地収用事務所として発足し、以来幾度かの組織の変遷を経て、昭和３２年に酒田工事事務所、平成１５年度から酒田河川国道事務所となり、庄内地域の“二つの川と三つの道”の改修、改築事業とその管理を行っています。

現在担当する区間として、河川は最上川下流及び赤川の本川２河川と京田川を含め５支川で74.7Km、道路は一般国道７号･47 号及び 112 号の３路線で延長 150.2Km について、改修・改築・維持管理事業を推進します。

本年度の総事業費（受託・調査を除く）は約 ２７５ 億円です。

2）河川事業

近年の局地的な集中豪雨や地震などに起因して頻発する風水害・震災から被害を最小限とする緊急的な対策が必要とされています。このため、当事務所においても住民の円滑かつ迅速な避難を促し被害を最小限にするための支援を行うとともに、山形県と連携し流域全体の安全度の確保、向上を図っていきます。

本年度の河川事業は、自然豊かな河川環境を有する最上川と赤川の河川特性を活かし、地域と連携した事業の推進を図り、計画達成に向けて効率的・計画的に河川事業を行います。

主な河川事業として、最上川下流は、支川京田川における流下能力向上を図るため、国道 112 号出羽大橋の４車線化工事に関連する、宮野浦地区の築堤工事を実施します。

赤川は、中流部における洪水流下能力の向上を図るため、押切地区の河道掘削用地買収を推進するほか、地域と連携し本来の赤川としての河川環境復元・創出のための調査研究を進めながら、赤川の自然再生事業を推進します。

河川維持修繕事業として、最上川下流及び赤川合わせて管理延長 74.7km 内において巡視・点検を実施し、堤防、堰、樋門等が洪水時に適切に機能し得るよう効率的かつ効果的に維持管理を行います。

各河川の主な維持修繕工事としては管理区間全川で、堤防を適切に管理するための除草を行うほか、最上川下流では、堤防法面が裸地化し洪水時に浸食される恐れのある箇所があることから、これらの箇所を浸食に強い芝に張り替える工事を行います。赤川においては、河川内の樹木の繁茂により洪水時に流れにくくなり、水位が上昇している箇所があることから、スムーズに流下させ水位上昇が少なくなるよう、河川内の樹木管理を行います。

また、河川管理用カメラの画像を光ケーブルを通じて自治体に配信を進めるほか、各河川の洪水時危険箇所に水位の表示板を設置し情報の共有化を図り、避難勧告等の迅速化や住民の避難行動の適切な判断等、地域防災力向上に向けた支援を行います。

赤川については「赤川水系河川整備基本方針」の策定に向けて、検討を進めて行きます。

3）道路事業

地域間を交流・連携し庄内地域の活性化に資する高速交通ネットワークの整備を推進するとともに、庄内地域の安全で快適な道路交通確保を目指し、交通事故対策、交通渋滞対策を行います。

日本海沿岸東北自動車道(温海～鶴岡)新直轄事業では、堅苔沢トンネルや降矢川橋上部工、中清水橋上部工に着手するほか、長大トンネルである温海トンネルの北側坑口からの工事に着手し事業推進を図ります。

一般国道７号では、安全で安心な道路交通を確保するため、温海地区防災において、越波対策の完成を目指すとともに堅苔沢地区の防災対策を推進します。

また、重要港湾酒田港へのアクセス向上を図る宮海拡幅については、改良舗装工事を推進し、全線４車線の完成供用を目指します。

一般国道 47 号では、新庄酒田間の地域高規格道路の一部である余目酒田道路について、早期の供用を目指し、用地買収、改良工事、最上川を渡る庄内中央大橋(仮称)の下部工工事を推進します。

一般国道 112 号では、山岳地帯を通過する月山道路において安全・安心な道路交通を確保するため落石防護柵、法面保護などの防災対策を実施します。

また、鶴岡市内の交通混雑緩和、環状道路の一部を形成する鶴岡北改良については、用地買収を推進するとともに改良工事を推進します。

維持修繕事業は、安全で良好な道路を確保するため、路面舗装維持修繕、構造物の延命化を目的とした橋梁補修及び震災対策として橋梁耐震補強を実施します。また、ｺﾝｸﾘｰﾄ片落下などによる第３者への被害防止を主目的としたトンネル補修や防災対策事業を実施します。

交通安全事業は、一般国道７号鶴岡市小波渡地区（鰺ヶ崎トンネル）において、歩道拡幅整備を推進します。

電線共同溝事業は、一般国道 112 号鶴岡市宝田地内において、「安全で快適な歩行者区間」「都市景観の向上」などを目的として電線類地中化事業に着手します。

２．平成１９年度　酒田河川国道事務所予算概要

（単位：百万円）

区　分		平成19年度 当初事業費①	平成18年度 当初事業費②	対前年度 増減費	①/② 伸び率（%）
河川	直轄河川改修費	525	476	49	110%
	直轄河川維持修繕費	814	807	7	101%
	直轄河川工作物応急対策事業費	26	―	26	―
	直轄総合水系環境整備事業費	128	200	△ 72	64%
	直轄河川等災害復旧費	―	―	―	―
	計	**1,493**	**1,483**	**10**	**101%**
道路	改築関係事業	22,373	22,302	71	100%
	新直轄事業 日本海沿岸東北自動車道(温海～鶴岡)	13,450	13,450	0	100%
	維持修繕関係事業	1,489	1,649	△ 160	90%
	雪寒事業	420	423	△ 3	99%
	道路環境整備事業（交通安全事業等）	1,698	1,188	510	143%
	計	**25,980**	**25,562**	**418**	**102%**
合　計		**27,473**	**27,045**	**428**	**102%**